

## 保育の基盤が揺らいでいる

### — 保育者不足は“将来の問題”ではない —

## 群馬県内の行政・関係団体・養成校が初の横断的意見交換会を開催 「群馬県における保育人材養成にかかる意見交換会」

全国的に深刻化している保育者不足は、もはや一部地域の課題ではありません。群馬県においても保育人材の確保は厳しさを増しており、現場では慢性的な人手不足が続いています。

子どもを安心して預けられる体制が維持できなければ、地域の子育て環境、さらには地域経済そのものにも影響が及びます。保育は「福祉」のみならず、「地域の持続可能性」を支える社会基盤です。

一方で、保育者養成校の減少や志願者数の停滞により、人材の供給源そのものが縮小しつつあります。このまま対策を講じなければ、将来的な保育体制の維持は極めて困難になることが懸念されます。

こうした危機感のもと、群馬県内の行政、関係団体、保育者養成校が一堂に会し、保育人材養成の現状と課題を共有し、実効性のある連携方策を協議する「群馬県における保育人材養成にかかる意見交換会」を開催いたします。本県において、立場を越えて横断的に協議する場を設けるのは極めて重要な取り組みであり、今後の具体的な行動につなげる第一歩となります。

なおこうした会を開催することは、群馬県でも初めてのことです。

■ 日 時：令和8年3月9日（月）10:00～

■ 会 場：育英短期大学（群馬県高崎市京目町 1656-1）

■ 出席予定機関・団体：

- ・ 群馬県高崎市
- ・ 群馬県福祉人材センター
- ・ 群馬県私立幼稚園・こども園協会
- ・ 群馬県私立保育協議会
- ・ 群馬県私立こども園協会
- ・ 群馬県児童養護施設連絡協議会
- ・ 群馬県内保育者養成校

■ 内 容：

- ・ 保育者等希望者の状況について
- ・ 人材養成や確保に向けた組織づくりについて
- ・ 人材養成や確保にむけた今後の取組について

◆取材のためのお問い合わせ◆

育英短期大学

担当：保育学科 准教授 大屋 陽祐

入試広報課 課長 桂 健太郎

電話：027-352-1981（代）

Mail：oya@ikuei-g.ac.jp